

外国語学部フランス語学科		専任講師	齋藤 由佳	大学院の授業担当 無
<b>教育活動</b>				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	外国語科目に関して	2023年～	小テストや少人数のグループでの学習内容の確認、ロールプレイ形式の会話練習を通して、学んだ内容の定着をはかっている。講読や文法の授業でも、音読や簡単なゲームを通して、体を使って言語に親しむことを重視している。	
2	講義科目(大規模)に関して	2023年～	学生との間で、双方向のコミュニケーションを取ることを大切にしている。リアクションペーパーやアンケートを活用したり、授業中に学生同士の議論を行う機会を設けたりして、学生が講義を通して学んだことや疑問に思ったことをアウトプットできるよう工夫している。こうした学生からの発信を通じて、特に関心の高いテーマや理解が難しい部分を教員が把握し、講義内容や授業形態のブラッシュアップにつなげるようにしている。	
3	講義科目(小規模)に関して	2024年～	学生が主体的に取り組めるよう、各自の関心に沿った講義内容にするよう努めている。学生が興味のあるテーマについて自分で調べたり発表したりする機会を設け、学生同士の学び合いや議論の場になるよう工夫している。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
1				
2				
3				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
1				
2				
3				
4 その他教育活動上特記すべき事項				
1				
2				
3				
<b>学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)</b>				
年月日		活動内容		
2015年6月～現在		日仏歴史学会員		
2015年11月～2016年2月		東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻紀要『年報地域文化研究』第19号学生編集委員		
2016年4月～2021年11月		東京大学大学院総合文化研究科フランス語系学生論文集『Résonances』第10号、第11号編集委員		

外国語学部フランス語学科	専任講師	齋藤 由佳	大学院の授業担当 無
<b>その他</b>			
研究助成事業: 「18世紀および19世紀初頭フランスにおける味覚の探究—グリモ・ド・ラ・レニエール的美食言説を中心として—」サントリー文化財団 2017年度若手研究者のためのチャレンジ研究助成(2018年4月~2019年3月)			
受賞歴: 一高記念賞(2015年3月)			